

令和7年度第2回 高浜市総合教育会議 議事録
開会日時 令和8年2月27日(金)午後2時30分
閉会日時 令和8年2月27日(金)午後4時03分
場 所 いきいき広場3階会議室

■ 出席者

市長	杉浦 康憲
教育委員会 教育長	岡本 竜生
教育委員会 教育長職務代理者	後藤 恵理
教育委員会 委員	加藤 洋子
教育委員会 委員	江坂 徳峰

■ 会議構成員以外の出席者及び事務局

副市長	深谷 直弘
吉浜小学校教諭	杉浦 正徳
吉浜小学校教諭	増田 彩子
高取小学校校長	中井 滋
高取小学校教諭	佐野 博之
学校経営グループリーダー	清水 健
学校経営グループ主幹	小嶋 俊明

■ 傍聴者 0名

1 市長挨拶

○杉浦市長

本日は高浜市総合教育会議にご出席いただきましてありがとうございます。そして教育委員の皆様におかれましては、日頃から高浜市の教育行政に本当にご意見、そしてご協力いただきましてありがとうございます。

今日の議題の主題研究ですが、現場ではきっと様々な課題や生徒がいる中で、先生たちがさまざまな工夫をし、授業やっただいていてと思いますので、その一端を見せていただくというのは私達にとってもまたいい経験かなと思っています。

二つ目の議題の当初予算の概要は、財政的に厳しいが、やはり子供たちの教育現場、教育拠点を守っていこうというのが基本姿勢ですので、しっかりとやっていきたいと思っています。

三つ目の教育基本構想は、高浜市教育基本構想を作成していますので、これに沿ってどんな進捗をいているのかを皆様にお知らせをするとともにご助言いただければと思っています。

今日はよろしくお願いします。

2 議題

(1)令和7年度の主題研究(成果、課題等)について

○杉浦市長

(1)令和7年度の主題研究(成果、課題等)についてを議題といたします。それでは、吉浜小学校から説明をお願いします。

○吉浜小学校

資料1により、令和7年度の主題研究(成果、課題等)について説明。

○杉浦市長

ありがとうございました。それでは、ご質問等ありましたらお願いします。

○江坂徳峰委員

対話等になかなか参加できない児童に対してはどのようにフォローアップしていくのか教えてほしい。

○吉浜小学校

担任と練習等し、本当に言いたかったことを個人、個別に聞いて、少しずつ慣れもらっています。

○江坂徳峰委員

子どもの成長を感じますか。

○吉浜小学校

人前で話せなかった子どもが、人前でも喋れるようになったのは、成長を感じたし、今年、自分が一番驚きを感じました。

○後藤恵理委員

先生のクラスいいなと思っていました。コミュニケーション能力、対応力も上がって、他のクラスにもすごく浸透してほしいことだし、学年によって、レベルが上がってくるっていうのも教えていただいて、上級生ではどうなっていくのかなっていうところもきちんとされていたので、今後、その子ども達がどんなふうになくなっていくのかが想像できるし、みんなが成長して欲しいと思いました

○小嶋主幹

本当に楽しそうに、学んでいるのが、分かりました。様々な活動体験を生かしながら、この単元を通して、本当に工夫して、子ども達の考えを繋げながらやられていて、非常に感心をしました。子ども達の話し合いの中で、印象的なものがあったら教えていただきたい。

○吉浜小学校

友達のやり方を聞いて真似した結果、大幅にずれちゃった子もいましたが、新しいやり方で2回目にトライしたっていうのが、すごく良かった。正解にはならなかったが、いろんなやり方が知れ、仲間と関わることで、学びになったのかなって思いました。

○小嶋主幹

子ども達の興味が継続していて、学びに向かっている。気づきや体験が次の授業に活かされているっていうのが、子供の学びは、決して授業だけでなく、ちゃんと繋がっている

と思いました。

○深谷副市長

まさにタイトル通りで、今のお話で非常によく伝わりました。昔、美術の先生が子供の成長は、無限大で、話をしてお題を出すと、何も話さなくて、自分の世界だけで絵を描くとそれだけの絵だけど、人と話をして書くとそのお題ももっと膨らむと言われましたが、まさにその話に近いもので、非常に興味深く聞きました。交流することで、成長していくことが、よく分かりました。

○加藤洋子委員

私自身話すことが苦手なので、こういう授業を受けていたらよかったと思いました。

○岡本教育長

会話と対話で分けたのは。

○吉浜小学校

前回の会議で、言葉にこだわった方がよいとアドバイスをいただいたからです。

○岡本教育長

話し合いがよかったと思う時は、必要性や価値があるか、話し合いそのものが面白いかなのかで、この中に入ってきた時に大体いい話し合いが行われている。やっぱり話し合うということを大事にしてほしい。研究は、先生のためにやるもので、子供の姿で検証するが、一時の子供よりも実は先生のためになる。先生が成長すると、その先生と付き合う子供はずっとそこで教わって、すごく価値が高い。目の前の子ども達も大事だが、研究は先生のためにある。研究は、深まるし、楽しいし、やっていて、これいいなっていうふうに思うような研究でないといけない。しぼんだり、やらされ研究ではいけない。実感する研究を続けて欲しいと切に思いました。

○岡本教育長

緘黙の話ですが、結果的にうまくいっている話ですが、やっぱり慎重に考えてほしいと思う。突如、変わるケースあるから、やりすぎではいけないし、用心深さは常に持ってほしい。

○杉浦市長

続きまして、高取小学校より説明をお願いいたします。

○高取小学校

資料2により、令和7年度の主題研究(成果、課題等)について説明。

○杉浦市長

ありがとうございました。それでは、ご質問等ありましたらお願いします。

○江坂徳峰委員

前回、個別最適な学びというところにあんまり執着しちゃいけないということを教育長がおっしゃられていました。今回、コミュニケーション等も付加されて、方向性を変えられてすごいと思いました。子供たちが学ぶことが楽しくなり、貧富の差による学力差っていうところも、だんだん解消していくっていう形に繋がっていけば、素晴らしい研究

になると思いました。

○後藤恵理委員

得意な子と苦手な子では、差が出ないのですか。

○高取小学校

得意な子は、どんどん進めたりする場合もあります。逆に苦手な子は、わからないのにどんどん次に進んでいくから嫌だと思っている。でもこのやり方だと、計画通り行かなくても調節ができるようになったので、苦手な子も楽しいって言ってくれるようになりました。今は、苦手な子が発展コースに進んだり、困っている子に教えたりとかしているので、暇になることも無くなった。

○後藤恵理委員

児童同士の関わり合いも生まれたり、今までの当たり前の授業しか知らなかったのすごいと思いました。

○加藤洋子委員

2年生の傘子地蔵の授業は、多様性で複数のコーナーがあり、すごく楽しい授業だと思っていましたが、先生の負担が大きいのでは。

○高取小学校

担任1人でとなると難しいので、学年で同じ授業を作っていきますので、3、4人で取り組んでいる状況です。

○小嶋主幹

実際に高取小の先生方が取り組んでいる様子見させていただきました。何より子ども達が45分の授業をみんなが楽しく、活動しているのと、みんなが集中力を持って、動き続けているのに圧倒されました。従来の授業だと、聞く子は聞くけど、大体半の子は、頭の上で、先生の話だとか友達の話が飛び交っているだけでずっと我慢しているみたいな感じですけど、これはいいなって思いました。選択するところから子どもの学びはもう向かっていて、自分でヒント取りに行くし、迎えに行っている。その都度、子どもは、考えて自分で判断して、集中力や興味が続いているところを実感しました。

今後、学校全体でどのような方向に進めていくのかっていうところが非常に楽しみになりました。

○深谷副市長

子どもにいろんな選択肢の段階も含めて、のちのち考えたときに非常によい経験をしていて、自己肯定がうまくやれたら、一つステップが上がって、次にチャレンジするというすごくいい方針を持たれてやっているという感覚を持ちました。

○岡本教育長

自分の感覚は、やっぱり難しい研究であると思いました。守備範囲が極めて広いだけに、それを検証するのはすごく難しくなります。研究そのものが難しいから、いくつか疑問点が出てきます。

最初にここの図でいうと、学習の目標は同じですね。同じだけど、実践の姿を見ている

と、それぞれで違っていませんかみたいなに思いませんか。

○高取小学校

例えば算数の授業で言うと、筆算の仕方を理解できるようになるということに関しての目標は同じであるかなと思います。そういう意味での同じ一つの目標であると思います。

○岡本教育長

やってみた結果で、わかったことだから、それは、新たな整理の仕方をしていけばいいと思いますが、研究は、発表するためにやっているわけではなく、先生たちが様々試して、いろんな手応えを感じるためにやっているものです。先生たちの試行錯誤こそ、価値があります。子ども達をまとめること、苦労しなかったですか。

○高取小学校

難しいです。

○岡本教育長

「指導の個別化への注力」の「現在の事業形態によって全員が異なる目標を持つ学習の個性化の追求は難易度が高い」というのは、本当に難易度が高いということになるのですか。

○高取小学校

校内でいろいろ話を進めていく中ではそういう話にはなりました。

○岡本教育長

こっちの方がやりたいとかやりやすいという先生はいなかったですか。

○高取小学校

教科によっては、こっちのパターンになる場合もあるではという話は出てきました。

○岡本教育長

教科とか中身によってはこっちじゃないのみたいな話も出てきていますか。

○高取小学校

昨年度の段階では、個性化指導の個別化をあまり意識せず、どちらかに絞って研究をしないと空中分解するということで、今年度は、指導の個別から行うという流れになりました。

○岡本教育長

難易度が高くないから、高くない方にしましたって話になってしまうから、学習の個性化の追求は難易度が高いという表現はよくない。今年度は、こちらでやりますという表現にしないといけない。個別最適を行った後の計画や見通しはありますか。

○高取小学校

この実践を公開授業の時期とかがいろいろ取組をしている時期にも、一斉授業の形や従来の通りの形も大切にして同時に進めています。

○岡本教育長

もう子ども達には、芽生えている。実は、子ども達が学んだこととか見つけたことを既に表現したがつている。主体的対話的にもう向かって、実は育ちつつあると思います。苦

労した分、何か子ども達の姿は、次のものをもう子供が見してくれていると考えてもよいのではないかと思います。

○杉浦市長

以上で、「(1)令和7年度の主題研究(成果、課題等)について」の質疑を終結します。ありがとうございました。

(2)令和8年度当初予算(案)概要について

○杉浦市長

続きまして、「(2)令和8年度当初予算(案)概要について」、事務局より説明してください。

○学校経営グループリーダー

「令和8年度当初予算(案)概要について」について説明

○杉浦市長

それでは、委員の皆様からご質問等があればお願いします。

(特に質問なし)

○杉浦市長

特になければ、(2)令和8年度当初予算(案)概要について質疑を終結します。

次に、(3)高浜市教育基本構想の進捗についてを議題とします。学校経営グループから説明をお願いします。

○学校経営グループ主幹

(3)高浜市教育基本構想の進捗について説明。

○杉浦市長

それでは、委員の皆様からご質問等があればお願いします。

(特に質問なし)

○杉浦市長

特になければ、(3)高浜市教育基本構想の進捗について質疑を終結します。

次に、(4)その他に移ります。委員の皆様からご発言等がありましたらお願いします。

(特に質問等なし)

○杉浦市長

以上ですべての議事を終了しましたので閉会とさせていただきます。本日は、ありがとうございました。